

建設業年末年始労働災害防止強調期間

「無事故の歳末 明るい正月」

忙しい年末のこの時期、現場の作業には普段以上の危険要因が発生します！
“明るい正月”を迎えるために、事故、災害を確実に防いでいきましょう！

いよいよ12月です、今年も年の瀬を迎えますね
完成目標を目指して、工事の施工もピッチをあげている
ところですが、安全管理が二の次になっていませんか？

作業通路の確保や、資格の確認、反射ベストの着用
職長が正しく指揮をとって作業が行われているか
いま一度皆さんの現場を見直して下さい **安全ルール厳守！**



工事車両は早めのライト点灯を！
← 視界も悪くなる季節ですが
反射ベストは貴方を守ります

そして 年末年始に向けて 気を配ってほしいこと

右に挙げた3点は
今の時期には特に
気を配る必要が
あります。
施工が最優先に
なりがちな年末！
これらの対策も
疎かにならない様に



雪の下は落とし穴

雪・氷対策！



引火したら消せる??

火災防止！



重しが無いと倒れます

歩行者安全確保！

今年も！
無事に正月を迎えましょう！

Q&A 皆さんからいただいた、現場における安全管理の疑問についてお答えするコーナーです

Q 塩化カルシウムなどの融雪剤(解氷材)が氷を解かす仕組みとは？

A 撒くだけで雪や氷を溶かす便利な融雪剤ですが、塩カルなどは水分を吸収する際に熱を発生させる(反応熱)ため、雪や氷上に撒くと発熱し溶かす効果が得られます。
また、溶けて塩水になると、塩水の凝固点は-20℃以下と水より低いいため、凍らない状態を維持できることとなります。
ただし、塩化カルシウムは金属を強烈に腐食させるうえ、誤って素手や濡れた軍手で扱ったりすると反応熱で火傷するなど、取り扱いに注意点多く、塩カル以外の環境に配慮した融雪剤も販売されていますので、場所や用途を考慮して融雪剤を選定してください。

(尿素タイプの融雪剤は発熱とは逆の吸熱反応で氷をシャーベット状にする効果です⇒)

